

第二面の調査

縄文時代早期～中期



縄文時代早期の土器

《長竹の歴史をさかのぼる》

平成23年度に調査したC区では、縄文時代早期（約8000年前）の遺物が多く出土しました。この他、早期（約10000年前）から中期（約4000年前）までの土器や石器が出土し、古くから人々がこの地に、繰り返し住まいを構えていたことがわかりました。



埋め込まれた土器

《実り多き台地を目指す》

かつてこの地が台地であった頃の第二面の地層には、縄文時代の歴史が埋まっています。とくに、A区・B区に広がる遺物を含む層（包含層）からは、縄文時代後期から晩期（約3500～3000年前）にかけての土器や石器を中心に、たくさんの遺物が出土しています。

この包含層は、人工の盛土と考えられ、一部では厚さ約1.4mにもなります。

竪穴住居跡

《竪穴住居跡と埋甕》

C区では縄文時代中期の竪穴住居跡も見つかりました。丸い竪穴の中央には地面を掘り窪めて火を燃やした炉があります。外周の溝は壁が崩れないよう支えを埋め込んだ跡です。

一方、左の写真は住居の壁際に埋め込まれた土器です。このような「埋甕」は、多くが住居の入口近くに設けられています。後産の胎盤を埋め、出入りする人たちが繰り返し踏むことで、その子の息災を願う風習だという説があります。



掘れば掘るほど
・・・出てきた！！

平成23年度第8回遺跡見学会資料

平成24年1月21日（土）開催

加須市大越

長竹遺跡

利根川

長竹遺跡

掘れば掘るほど
見えてきた！



第一面

古墳時代～近世の調査面は、
地表下1m

第二面

縄文時代の調査面は、深いところで
地表下4m！

はじめに・・・

長竹遺跡の発掘調査は、利根川堤防の強化工事に先立ち平成22年5月から行われています。これまでに、縄文時代から奈良・平安時代、さらに中世・近世・近代に至る遺構や、右上の土偶をはじめとする多くの遺物が出土しています。

加須市周辺は「関東造盆地運動」によって土地が少しずつ沈んでいます。さらに、繰り返される洪水で土がつもるため、むかしの人々が暮らした地面は、深く埋まってしまいました。

地下約1mの古墳時代以降の生活跡（第一面）を調査した後、地下2～4mに埋まっている縄文時代の生活跡（第二面）を調査しています。

主催：埼玉県教育委員会 協力：財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団
共催：国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所／加須市教育委員会

あげ 暴れる河に耐え、挑む

長竹遺跡の発掘は、予定地をA～C区に分け、それぞれ二つの生活面を調査しています。すでにB区・C区の調査を完了し、現在、A区第一面の調査を行っています。

昔の長竹の地は、起伏ある台地でしたが、地盤沈下と洪水が繰り返され、古墳時代頃には平坦になりました。奈良・平安時代には集落も営まれました。中世・近世には井戸や畠が作られ、周辺には集落の存在が想定されます。

第一面の調査



奈良・平安時代

平安時代の竪穴住居跡

《奈良・平安時代のムラ》

奈良・平安時代の竪穴住居跡は、これまでに約30軒発見されました。現在A区では10世紀の集落を調査しており、当時の高級食器「緑釉陶器」などが出土しています。さらに下層で8・9世紀の竪穴住居跡も確認されています。

昨年度A区で見つかった8・9世紀の竪穴住居跡からは、武蔵・上野・下野・常陸・下総の窯で焼かれた灰色の器（須恵器）が出土しました。こうした出土品の産地の多彩さは、人や物の交流がさかんに行われていたことを物語っています。今年度も新たな資料の追加が期待されます。



緑釉陶器の出土状況

掘れば掘るほど謎が解けてきた！



とねがわきゅうていぼう 利根川旧堤防

中世・近世・近代



利根川旧堤防断面（土層が左に上がっている）

《利根川の旧堤防跡》

かつてB区・C区には、上段航空写真の点線範囲に旧堤防がありました。C区の調査では、その一部を削り、堤防の歴史を調べました。古い盛土は新堤防の下にありましたが、堤防の初現まではわかりませんでした。今回の調査では、天明三（1783）年に噴火した浅間山の軽石層の上に土が盛られていました。以降、堤防の積み増しは四回以上行われ、右上写真では三回盛土されたことがわかります。



旧堤防断面の拡大



旧堤防に沿ってつくられた排水溝



近世の畠うね跡

《中世・近世の生活跡》

中世・近世の遺構は、溝跡・井戸跡・畠跡などがみついています。溝跡の大半は堤防裾の雨水を排水したものです。堤防を拡幅する度に掘削されたようで、B区・C区で深い溝が幾条も並行して見つかりました。

一方、井戸跡はA区・B区の境付近に集中しており、適地が見極められていたと想像できます。また、C区で発見した畠跡は洪水で埋もれ、そのまま放棄されたようです。



近世の井戸跡